



DYFLEX

建築・土木用 軟質形低粘度形注入エポキシ樹脂
・総プロ(土木補修用エポキシ樹脂注入材)3種適合品・NEXCO(ひび割れ注入材)3種適合品
EverBond® EP-301
エバーボンド EP-301 : JAIA-008750 F ☆☆☆☆ / JAIA-503733 4VOC 基準適合

【☆主剤3kg+硬化剤2kg=5kgセット】

注入補修用・充填接着用軟質形 低粘度形エポキシ樹脂

エバーボンド® EP-301

エバーボンド EP-301 は、軟質形低粘度タイプの注入用エポキシ樹脂です。

コンクリート構造物の挙動があるひび割れ、モルタルやタイルの浮き等の注入・充填接着に適しています。ひび割れ注入は、自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 (SK グラウトプラグ A 工法) により微細なひび割れに対し優れた注入性と追従性と接着性が期待できます。



建築構造物 新設 腰壁



土木構造物 改修 トンネル内壁

エバーボンド EP-301 の特長

- 作業性が良い — 低粘度で混合性・注入性に優れています。
- 追従性が良い — 材料の伸びがある為、動きに追従します。
- 接着性が良い — 接着力が強く、ひび割れ部への注入により、構造物を一体化します。
- 収縮が小さい — 硬化時や経時による収縮が殆どありませんので、充填後の肌分かれなどを起こしません。

エバーボンド EP-301 の用途

- 挙動するコンクリート構造物のひび割れの隙間やモルタル等の浮き部の注入・充填接着
- 手摺埋設空洞部への注入・充填接着

建築・土木用 軟質形低粘度形注入エポキシ樹脂

・JIS A 6024:2015 ・総プロ（土木補修用エポキシ樹脂注入材）3種 ・NEXCO（ひび割れ注入材）3種相当品

性状

エパーボンド EP-301		
項目	主剤	硬化剤
主成分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン
外観	透明液体	褐色透明液体
混 合 比	主剤：硬化剤＝3：2（重量比）	
混合比重	1.10 ± 0.1 g/cm ³	
可使時間 （300g）	5℃	約 215 分
	10℃	約 110 分
	15℃	約 65 分
	20℃	約 45 分
	25℃	約 35 分
	30℃	約 25 分

※可使時間については、測定値で規格値ではありません。

※一度に混合する量は、可使時間内に使用できる範囲として下さい。

物性データ 「コンクリートの耐久性向上技術の開発」（建設省総合技術開発プロジェクト） 注入材および充填材の品質規格（土木補修用エポキシ樹脂注入材）3種に基づく試験

「コンクリートの耐久性向上技術の開発」（総プロ）3種		エパーボンド EP-301	
試験項目		試験結果	規格値
粘度（cps）		650	1000 以下
可使時間（分）		89	30 以上
硬化時間（時間）		22	24 以内
硬化収縮（％）		0.03	0.1 以下
伸び率（％）		126	100 以上
モルタル付着強さ（乾燥面）（kgf/cm ² ）		107	60 以上
付着耐久性保持率（％）		110	60 以上

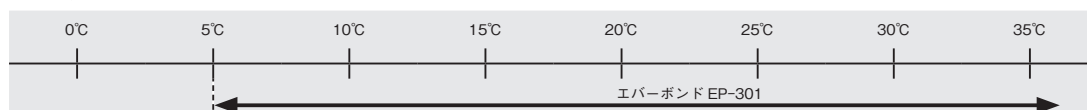
物性データ 「構造物施工管理要領」東日本高速道路(株)、中日本高速道路(株)、西日本高速道路(株) 表3-4-1 ひび割れ注入工法用エポキシ樹脂系ひび割れ注入材の品質規格3種に基づく試験

NEXCO「構造物施工管理要領」ひび割れ注入材（3種）				エパーボンド EP-301	
試験項目				試験結果	規格値
未硬化の注入材	粘度（×10 ⁻³ ）	単位		514	1000 以下
	可使時間	min		51	30 以上
	収縮率	％		1.3	3.0 以下
硬化した注入材	伸び	％		134	100 以上
	モルタル付着強さ	乾燥面	N/mm ²	11	6 以上
		湿潤面	N/mm ²	6	3 以上
	付着力耐久性保持率		％	96	60 以上

梱包容量

5kgセット（主剤：3kg、硬化剤：2kg）/ ケース	低粘度形（Ⅱ-L-R）一般用
-----------------------------	----------------

材料使用温度との目安



※ 詳細な注意事項が必要な場合は、安全データシート（SDS）をご参照下さい。

免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプラダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プラダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dyflex.co.jp/bousui/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。

2023年6月版

(’23.6月現在) ’23.06.1,000 SJ